

4・25法大闘争へ!

2014年4月19日
No.186

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

全国学生の4・25闘争結集アピール!

●沖縄大学2年生

4・25法大集会に沖縄大学から参加します!

武田雄飛丸君への「無期停学」処分はまったくもって不当なものであり、新自由主義大学と闘う全国学生にかけられた攻撃です。武田君の処分の中には、新自由主義大学の矛盾の全てが詰まっています。

私の通う沖縄大学も、法政大と変わらない新自由主義大学です。沖大生は大学の腐敗した現状に怒り、法大闘争と出会う中で、沖大に学生自治会をつくって闘うことを決意しました。去年から自治会復活会をつくって闘っています。

4・24日米首脳会談に向けて、基地建設が加速しています。戦争と新自由主義を推進する安倍・オバマの首脳会談など、粉砕するしかありません。そうした情勢の中で、多くの沖大生が怒って立ち上がろうとしています。それに対して沖大当局は入学式のビラまきを妨害し、改憲や基地建設に反対する講演会の教室使用を拒否してきました。しかも、それが「辺野古基地建設反対」の立場から憲法論を語る仲地博学長体制の下で行われている! こんな体制は、一日でも早く沖大生の手によって打倒されるべきものであり、法大の田中優子新総長体制とまったく同じです。

私も、武田君の処分を撤回させ、この腐った大学のあり方を変えるために4・25法大集会和デモに決起したいと思います!

●東北大学学生自治会委員長・青野弘明

全国学生に4・25法大闘争への結集を呼びかけます! 今年の2月に法大闘争は、法大暴処法裁判で完全無罪判決をかちとりました。新自由主義大学の破産を明らかにし、学生が団結すれば勝てる時代が来たことを示す大勝利です。この勝利を糧に、エセ「リベラル」=田中優子新総長体制を打倒し、武田雄飛丸・文化連盟委員長にかけられている不当な「無期停学」処分を撤回させよう!

新総長に就任した田中優子は、「脱原発」や「護憲」を謳いながら、自分の足元では本当に社会の不正義と闘う文化連盟を弾圧するという、まったく転倒した、許し難い暴挙を働いています。エセ「リベラル」や体制内勢力こそが、今の支配階級を支えているのです。

いま日本が迎えている危機的状況、改憲と戦争・原発再稼



学生との討論を妨害する法大弾圧職員を徹底弾劾し、圧倒的な注目!(4月17日・外濠校舎前)

「大学改革」粉砕! 大学の主人公は学生だ!

4・25法大解放総決起集会

4月25日(金) 12:40~ 法政大学市ヶ谷キャンパス集合

13:30~ 法大包囲デモに出発

※終了後、文科省に申し入れ行動

呼びかけ: 4・25集会実行委員会

(法政大学文化連盟 <http://08bunren.blog25.fc2.com/> bunren08@yahoo.co.jp)





門前で吼える武田君

働・社会保障制度の解体・総非正規職
化が一体なぜ生み出されたのか？
それは、安倍晋三に代表される新自由
主義を振りかざす支配階級の登場に
よるものですが、それを支える大学
の役割が非常に大きいと言えます。

国家のために学問を利用し、「大学
改革」の名の下に資本に従順な「グロ
バル人材」を育成することが、資本主
義社会に位置づけられる今の大学で
す。それは、こういった大学のあり
方と闘う、武田君のような学生をキャン

パスから排除することと一体で成り立っています。ですから、この処分を撤回させたときこそ、大学を学生・労働者の手に取り戻すときです。

武田君は、まあ少し変わっているけれど(笑)、いい奴です。本当に大学からたたき出されるべきなのは、田中優子と弾圧職員どもだ！ぜひ、多くの学生に法大闘争に触れて、そして共に学生運動に立ち上がって欲しい！4・25法大闘争を爆発させよう！

●東北大2年生

法大当局の学生に対する暴力的な管理・支配は到底許せるものではありません。そして、この法大闘争は東北大学に通っている僕にとっても、決して縁遠い出来事ではないと考えています。なぜなら、この問題は法政大学だけの問題ではなく全国の大学で起こりうる、普遍性をもった問題だからです。法大闘争に参加するという事は、法大当局と対決するというだけではありません。明日、自分に降りかかるかもしれない大学の管理・支配体制と闘うということだと僕は考えます。

そもそも、この学生に対する管理・支配の風潮は何なんでしょう？僕たちは「学校」に通っている「生徒」ではありません。「大学」に通っている「学生」なのです。決して僕たちは、管理されるような存在ではないんです。

みなさん、ぜひ4・25法大集会に参加し、僕たちが学生であるということを法大当局に、ひいては管理・支配を押し進

める全国の大学当局に示しましょう。

●「福島から法大へ！」 福島大4年生

福島大学では今、原発反対の活動を行おうとする学生への不当な弾圧がされています。原発反対を訴えるビラを配っているところに職員が来て、妨害・監視をしてくる。「原発反対を語った過激派の勧誘に注意」という看板を構内に設置し、学生にもそのように呼び掛けています。

福大の新しい学長は新生入生に、「批判精神を持ってください」「人権感覚を身につけましょう」と言いました。しかし、その一方で実際にしていることは、今の社会を批判する学生への弾圧です。原発反対の声を潰すことによる、安倍政権の原発推進政策への加担です。法政大でも、これと同じことが行われています。

こうした大学のあり方を変える鍵は、学生の団結にあると思います。法大闘争が8年もの間、多数の逮捕者・処分者を出しながらも「一人の仲間も見捨てない」というスローガンで闘われてきたからです。4月25日、闘う法大生・全国学生と団結するために法大集会に福島から駆けつけます。

■沖縄大当局の「4・18新歓講演会への教室貸し出し拒否」という暴挙に抗議して、講演会参加を呼びかける沖大新入生のアピール！

現在、改憲や集団的自衛権の行使容認、秘密保護法制定、そして普天間基地の辺野古移設と、日米両政府は戦争へ向けた動きを着々と進めています。そんな中、私は、沖大自治会復活会の代表者と出会いました。彼は上記のことに対して、私たちに何ができるかを必死に訴えかけてきて、それに心打たれた私はすぐに入会を決意しました。

今、腐敗した世界を変えるべく、台湾をはじめとした多くの国々で、学生による運動が活発化しています。日本においても法大を中心とした多くの学生自治団体が、暴走する国権に対して懸命に抗い続けています。沖大も今、この闘争に加わる時がやって参りました。皆様方の怒りの声をこの国に、そして世界へ向けて発信してください。

4月18日がまさにその時です。新入生のご参加も大歓迎いたします。一人でも多くの方が、この集会に足を運んでくださることを願ってやみません。(※沖大ビラより転載)

【当面する行動方針】

●集団的自衛権に反対する4・27集会

4月27日(日) 13時半～ 星陵会館(千代田区永田町2-16-2) ※集会後にデモ

【主催】とめよう戦争への道！ 百万人署名運動

●5・17～19沖縄現地闘争

辺野古新基地建設阻止！「改憲・戦争」の安倍政権打倒！ 学生自治会を甦らせよう！

●6・13法大処分撤回第6回裁判

6月13日(金) 16時～ 東京地裁・615号法廷にて ※30分前までに裁判所脇に集まって下さい

